

野川河床整備事業説明会の議事要旨

1 開催概要

日時：令和元年6月4日(火) 19時～20時30分
場所：調布市金子地域福祉センター 大集会室
参加人数：46名（狛江市民17名、調布市民28名、世田谷区民1名）

2 主なご質問・ご意見と都の回答(要旨)

番号	ご質問・ご意見	都の回答
1	世田谷区内の野川河床整備工事をフィードバックして設計し、色々と工夫をしてもらいたい。	世田谷区内の野川河床整備工事の現場は我々も確認しております。フィードバックして設計に反映したいと思います。
2	今まで通りカワセミが営巣できるような環境を整えていただきたい。	現地調査をしてカワセミが営巣していること、それを撮りに来る人達がいることは把握しております。それらも踏まえて設計・施工しようと思います。
3	資料の「河床整備区間(区市境～野川橋間)の整備内容」の断面図に書かれている高水敷掘削というのは無くなるという意味か。	配布資料(P15,P16)の黄色く塗られた範囲を約30cm掘削することで流下能力を確保します。掘削して地盤が下がっても今まで通り歩行空間は確保します。
4	高谷橋から野川橋はいつ工事を行うのか。	1工区である区市境から入間川合流点の上流付近までの約440mを今年度工事をする予定で事業を進めています。この工事後、来年度(令和2年度)の秋ごろから翌年の春ごろまでに2工区に移り、順々に上流に向かって1年ずつ1つの工区を進めるという形です。高谷橋あたりは4工区であるため4番目に工事をします。
5	今年はカワセミが非常に少なく感じる。下流の世田谷区間の河床整備工事と関係があるのか、また生態調査などはどうなっているのか。	下流の工事の影響なのかどうかは今のところ答えられません。毎年生物調査は行っており、今回の2km区間でもカワセミを確認しています。工事が終わっても引き続き調査は実施していきますので、その点を踏まえながら工事を進めたいと思っています。
6	神明橋あたりも今年カワセミが少ない。工事の影響による調査はしているのか。	下流の工事の影響なのかどうかは今のところ答えられません。我々の管内でも鳥類、魚類、植物関連の調査は今年度も行っていますので、その結果と工事後の結果を比較することは今後可能であると思っています。
7	大雨が降ったとき、下水が川に流れずマンホールから水が溢れてたことが何回かあって不安を覚える。今回の工事で防いでくれるのか。	今回掘削することによって川の流す能力は増えますので、増えた分だけ下水道からの水も流れる形にはなります。下水道の管理というのは調布市、狛江市などの市であるため、我々は調布市、狛江市の下水道部門の方たちと話を進めています。
8	橋に流木が引っかかり、そこから水が溢れるのではと心配している。今回の工事で防いでくれると期待しているがその点はどうか。	施工するにあたって支障になるような木であったり、調査・検討によって木があることにより水が流れなくなるというようなものに対しては伐採していきます。したがって、今の状態よりは幾分少なくなると思われれます。ただし、洪水や施工の支障にならない木については残していきます。また、工事をやっている所だけでなく維持管理も行っているため、住民の皆さまからの連絡により現場を確認し、支障になれば伐採するといった対応は可能です。

番号	ご質問・ご意見	都の回答
9	<p>昨今、50年に一度の大雨だとか想定外の大雨が降るが、今回の工事がどの程度対応できるのか。</p>	<p>河川の整備計画としては65mmという計画をもって整備しています。計画の内訳は、川として50mm、調節池等で5mm、流域対策で10mmです。ハード整備の水準を超える降雨の場合は、ソフト対策であるハザードマップ等や気象情報を確認したうえで行動して下さい。</p>
10	<p>65mmというのは何の基準をもってして設定しているのか。</p>	<p>整備水準は、1時間65mmで毎年20分の1の確率で時間65mm以上の降雨が発生する雨に対応する事としています。過去東京都で起きた水害をどれだけ防げるかということで、完全には防げないがハード整備とソフト対策の中でおおむね妥当であるというところで65mmと決めております。詳しくは「中小河川における都の整備方針」で定めております。</p>
11	<p>水が少ない時には汚水が流れているということを聞いたことがある。下水の整備が遅れて汚水が流れているのは事実なのか。</p>	<p>大雨の際には、下水の吐口から薄まって出てくるのは確かです。晴天時に下水の吐口から汚水が流れていたり、水が白く濁っているのを確認した際には我々の事務所に通報していただければ対応します。</p>
12	<p>カワセミのいる川は貴重である。どういった対応をするのか。</p>	<p>洗掘されている崖のようなところに営巣していると思われます。河川管理者としてこういった状況を放置していくと護岸に影響が出てまいります。今年度工事する箇所についてはどうしても洗掘防止対策をやらなければならないため、その後は、生物調査を実施し、モニタリングしていく予定です。</p>
13	<p>今まで他の地域で65mmで溢れたことはあるのか。</p>	<p>整備時期にもよりますが、65mmで溢れたことはあります。それだけの断面をもっていないと溢れてしまいますが、そういった場所は比較的優先して整備を進めます。</p>
14	<p>外環自動車道の工事が野川にどういった影響を与えてしまうのが心配である。</p>	<p>事業主体は国土交通省です。詳しくは調べてみないとわかりませんが、より深い位置での工事であるため、野川の湧水の位置には影響しないのではないかと考えています。</p>
15	<p>今回の2km区間で野川に降りる階段設置は考えているのか。階段が増えると人通りが多くなり、自然が減っていくと予想されるため、増設は最低限にしたい。</p>	<p>今回事業区間の左岸側(北側)に3箇所ほど階段を増設予定です。小足立橋上流、高谷橋上流、箕和田橋上流の計3箇所を予定しています。その3箇所を選んだ理由としては、階段を設置しても、背後に河川の維持管理車両が通れるような幅が確保できるためです。また、右岸側(南側)は階段の数が多いため、増設の予定はありません。</p>
16	<p>河道内の木を最低限残してくれるのは嬉しい。自然の景観すごく良いため、その点も十分検討して残せるものは残してほしい。</p>	<p>工事の施工に支障となる木は伐採します。水理検討によって残しても大丈夫なものは残していく事で考えています。</p>
17	<p>雨量と瀬切れの関係がよくわからない。また、箕和田橋の近くには狛江市の水道、地下水のくみ上げを行っている、雨量と狛江市の水のくみ上げ、水量の3つの関係ご存知なら教えてください。</p>	<p>瀬切れの関係は我々にもよく判りません。ただし、毎年4季水量調査しており、雨量もそれに関係して調べています。一般的に雨が少ないと、浸透量が少なくなるため湧水で成り立つ野川の水は少なくなると推測されます。河川管理者として河川内で対応できることを検討し、水を極力浸透させないよう川底に粘土を張ることを考えています。水量を確保するためには流域の各区市、お住まいの方々の協力があって改善されるのではと感じております。</p>